

6/28 頃日

高齢者施設 「職員から 集中検査まだ6割

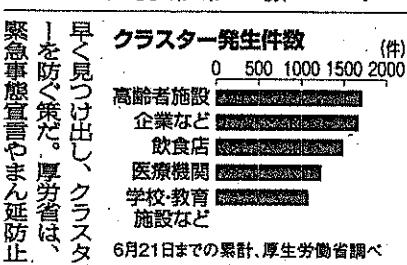
「職員から陽性者がいると回らない」と

新型コロナウイルスのクラスター（感染者等集団）が多発している高齢者施設を対象に、国はワクチン接種と並行して、PCRなどの集中検査の実施を全国の自治体に呼びかけているが、思うように進んでいない。

は、仮に職員から陽性者が
出れば仕事が回らなくなる
と心配して、検査に及び腰
になってしまっているという。

厚生労働省のまとめで
は、特別養護老人ホームや
介護老人保健施設などの高
齢者施設で発生したクラス
ターは今年6月21日までに

17-1-1件。飲食店や医療機関を上回つて最も多い。
5月上旬には大阪府門真市
の有料老人ホームや神戸市
の介護老人保健施設で計38
人の入所者が亡くなつていい
たことも明らかになつた。
施設の従事者を検査する
集中検査は、無症状の人を



地域の高齢者施設についても、
は2週間に一度、できれば
週1回、集中検査を実施する
よう指針を示しているが、
実際の頻度は検査を担当する
自治体によって異なる。
今年2～3月、厚生省は
緊急事態宣言を出していた
10都府県を対象に集中検査
を実施する方針を打ち出
たが、自治体の検査を受け
た施設は対象の半分程度、

約1万5千施設などと算定された。そこで厚労省は3月から、検査を受けない施設が相当程度あったとして、6月に積極的に検査を続けるように要請を出した。

集中検査の対象は7万6千56施設（障害者施設などを含む）に広げた。6月2日現在で検査の申し込があるたのは4万7千400施設で、全体の62%に相当する。

厚労省によると、施設側からは「人手不足の不安があるから、検査を受けない」という声が寄せられていると

いわ、実際、職員数の多
少別に養護老人ホームや介護
老人保健施設の多くが検査で
を受けている一方で、小規模な
施設の多くが検査で陽性者が現
れることがあると云ふ。そこで、
「検査を行はるときは何を注
意する。陽性者が出現した時
ら施設の運営ができるのか心
不安。ストレスに罹る職員が
もいる」。都内にあるクリニック
で、ホーメンの施設長はこう語
る。要請に従つて検査を受け
ているが、負担感は増してい
る。この施設では、

年、クリスマス夕ーが発生した。感染しなかつた職員だけではなんとか施設を運営しきれど、「グルーブホームは職員数が少ないので、感染者が出ると運営の継続が難しくなる」という。
淑徳大の結城康博教授（社会福祉学科）は、小規模な施設は横のつながりも薄く、感染者が出て場合の入手の副通が難しいと指摘する。その上で「陽性者が判明した施設には派遣の介護職員を出すための予算をあてるなど、人材確保の対策が必要だ」と話す。（石川友憲）